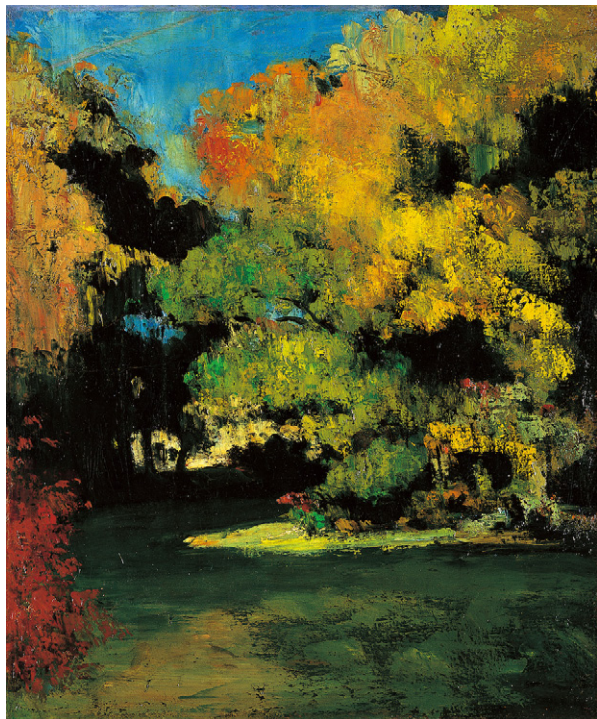




ポール・セザンヌ《林間の空地》 1867年
公益財団法人諸橋近代美術館所蔵



ポール・セザンヌ《オーヴェール=シュル=オワーズの葉葺きの家》 1872-73年
ポーラ美術館蔵

小企画展 若きセザンヌの 挑戦

2020.9.19sat -11.29sun

本展ではポール・セザンヌ(1839-1906)の初期作品の一つである当館所蔵の《林間の空地》を中心に、1860年～1870年代におけるセザンヌ初期の画業をフォーカス。20世紀の前衛芸術に多大なる影響を与えた「近代絵画の父」とも称されるセザンヌの若かりし日の挫折と挑戦、古典主題から戸外制作への関心に渡る自然への眼差しの変遷を紹介していきます。

裕福な銀行家の長男として南仏のエクス=アン=プロヴァンスで生まれたセザンヌは、画家を目指すため22歳で芸術の都パリへ足を踏み入れます。サロンでは落選を重ねながらも、画塾やルーヴル美術館にて修練に励み、当時の前衛芸術家や若い画家たちとの親交から多くの影響を受けました。

古典的な主題、暗い色調や厚塗りの筆触での描写など、普段私たちがイメージするセザンヌとは異なる若かりし日のセザンヌの画業をご覧ください。

■章構成

第1章：ロマン主義時代とクイヤルド絵画

第2章：パリへ

ーアカデミー・シュイスでの修練と芸術家たちとの出会い

第3章：戸外への関心と自然への眼差し

参考テーマ：セザンヌに影響を受けた20世紀の芸術家たち

展覧会のポイントをご紹介します



ポール・セザンヌ《宗教的な場面》1860-62年
ポーラ美術館蔵

point1:

普段あまり焦点が当てられないことがない
セザンヌの若き日に注目。

セザンヌといえば「林檎の静物画やサント=ヴィクトワール山を主題とした作品を制作した画家」とイメージする人が多いのではないのでしょうか。これらのイメージは、セザンヌの絵画様式が確立された後年に描かれ作品からくるものです。本展では、普段はあまりスポットが当てられないことがないセザンヌの初期に注目し、画家の人柄や挑戦と挫折を繰り返した画業を紹介します。

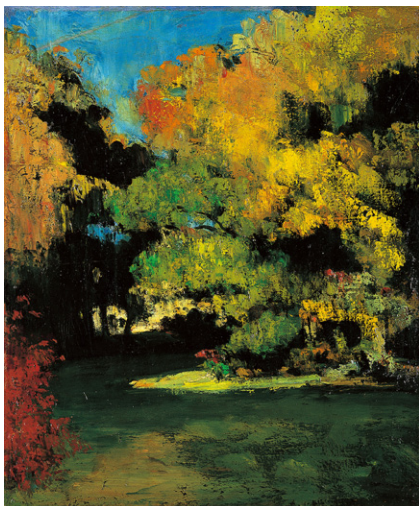


カミーユ・ピサロ《ポントワーズ丘陵、牛飼いの少女》1882年
公益財団法人諸橋近代美術館所蔵

point2:

若きセザンヌと親交を結んだ芸術家たち。

22歳でパリへ上京したセザンヌは、パリと故郷エクス=アン=プロヴァンスを往復する生活を続けます。パリでは画塾アカデミー・シュイスやルーヴル美術館で絵画制作の修練に励み、多くの芸術家たちと親交を結びました。当時の前衛芸術家や印象派の先駆者モンティセリ、印象派を代表するピサロは若きセザンヌに影響を与えることとなります。人付き合いがあまり得意ではなかったセザンヌを導いた画家たちにも注目します。



ポール・セザンヌ《林間の空地》1867年
公益財団法人諸橋近代美術館所蔵

point3:

当館所蔵《林間の空地》と戸外への関心。

セザンヌは次第に戸外へ関心を向けていきます。というのも、当時の若い画家たちは外光の元に照らされた草木や水の反映といった自然に魅了されていました。初期時代に制作された《林間の空地》はセザンヌの戸外への関心が見て取れると同時に、パレット・ナイフによる厚塗りでの描写からはクールベからの影響も見られます。他の画家たちとは一線を画した画家独自の自然への眼差しが感じ取られます。

開催概要

展覧会	小企画展「若きセザンヌの挑戦」
主催	公益財団法人諸橋近代美術館
特別協力	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
会期	2020年9月19日(土)～11月29日(日) (72日間) 〓 会期中無休 〓
会場	諸橋近代美術館 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23
時間	9時30分～17時30分 〓 11月は17時閉館 〓 入館は閉館時刻の30分前まで
観覧料	一般 1,300円 高校・大学生 500円 〓 中学生以下無料 〓 20名以上の一般団体 1,000円 〓 常設展の観覧も含む 〓 教育施設対象の観覧料免除制度あり(要事前申込) 〓 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳のご提示で所有者と付添い者1名は無料

※諸事情により会期・日程・内容が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報詳細

☐ 広報用画像のご提供

画像はデータにて無料でご提供いたします。

ご希望の際は下記の事項をご記入の上、メールにて当館までご連絡下さい。折り返しご連絡致します。お手数おかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 使用希望作品番号 (2) 会社名 (3) 担当者名 (4) 連絡先電話番号 (5) 掲載媒体名・番組名 (6) 発行日・放送日 (7) 発行部数
担当 / 公益財団法人諸橋近代美術館 担当 / 久納(くのう) e-mail: s-kunou@dali.jp

NO.1



ポール・セザンヌ
《林間の空地》
1867年
公益財団法人諸橋近代美術館所蔵館蔵

NO.2



ポール・セザンヌ
《オーヴェール=シュール=オワーズの葉葺きの家》
1872-73年
ポーラ美術館蔵

NO.3



ポール・セザンヌ
《宗教的な場面》
1860-62年
ポーラ美術館蔵

NO.4



カミーユ・ピサロ
《ポントワーズ丘陵、牛飼いの少女》
1882年
公益財団法人諸橋近代美術館所蔵館蔵

☐ 読者・視聴者プレゼント用招待券のご提供

本展覧会の招待券(5組10名様)をご提供します。ご希望の方はメールにて当館までご連絡下さい。



取材や記事掲載にご協力賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ：公益財団法人諸橋近代美術館 担当/久納(くのう)

e-mail : s-kunou@dali.jp tel:0241-37-1088 fax:0241-32-3332

〒969-2701 福島県北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23

公式ホームページ <https://dali.jp>



諸橋近代美術館